

市議会だより

いしがき串木野



マスクを着けて登校する子どもたち
(串木野小学校の正門前)

No. **76**

2020.8.5

6月議会定例会

7人の議員が市政を問う … P2～6

常任委員会審査 … P8～10

政務活動費報告 … P7

表決結果 … P11

いちき串木野市政の ここが知りたい!!

一般
質問

※一般質問とは、議員が市の事務の執行状況や将来への考え方などの報告や説明を市長などに求めながら、市が市民のために適切な市政運営を進めているかをチェックするものです。



(市議会本会議場の様子)

6月定例会の一般質問では、市政について7人の議員が14題目にわたり質問しました。
質問答弁の内容については、議員本人が要約をしています。

質問項目一覧

6月15日(月)

ひがし
東 育代 議員 (P3)

1. コミュニティ自動車貸与事業について

えぐち よしこ
江口 祥子 議員 (P3)

1. 長寿健診について
2. 放置自動車対策について

なかさと すみと
中里 純人 議員 (P4)

1. 行財政改革について
2. 市民サービスの向上について

だいろくの かずみ
大六野 一美 議員 (P4)

1. 公共施設の統廃合について

6月16日(火)

よしどめ りょうぞう
吉留 良三 議員 (P5)

1. いちき串木野市立ハローワークについて
2. 道路整備と地域活性化について

たなか かずや
田中 和矢 議員 (P5)

1. 避難所の管理運用体制について
2. 五反田川の水害洪水対策について
3. 市防災センターの自家発電について

ふくだ きよひろ
福田 清宏 議員 (P6)

1. 消防行政について
2. ストリートバスケットについて
3. まちづくり協議会の地区担当職員について

※6月定例会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一般質問の質問時間を短縮しました。

通常45分 ⇒ 今回20分に (いずれも市当局からの答弁時間は含みません。)



東 育代 議員

コミュニティ自動車の貸与 新制度は今後検討・協議する

問 平成30年4月から開始した公共交通システムとしてのコミュニティ自動車の貸与事業について、これまでの成果と課題について伺う。

答 これまで実施した5地区においては、ころばん体操やイベント時の送迎などの地域活性化の取組に車両を活用してきた。

また、一部の地域ではまちづくり協議会のなかに専門部会を組織し、

積極的な活用を検討してきた。

課題として、運転手の確保や経費負担、事故への不安などがあり、利用しづらい状況があった。

問 5地区が活用策を見出し好評であったにも関わらず、今年度から制度の見直しがあった。その内容と経緯について伺う。

答 これまでの運行実績や導入地区の現状、未導入地区からの要望等もあったため、市内全地区を対象とした車両を活用すべく、内容の見直しを行った。

問 自動車の利用頻度は、地区によって差異はあると思うが、5台一斉に引き上げるのではなく、他に方法はなかったのか。

答 利用頻度が低い地区があり、負担軽減にも繋がることや、同時返却が平等性を欠かない対応であると判断し、一斉返却を求めた。

問 導入地区の成果や課題を十分協議してから、対象地区拡大の

取組が必要ではなかったのか。

共生協働のまちづくりの推進は、行政との信頼関係の上に成り立つと思うがいかがか。

答 本市が掲げる共生協働のまちづくりを進める上では、市民と行政が連携を図り、情報を共有し、課題解決に向けた取組が必要であると考える。

今後、まち協や地域の方々のご意見を踏まえ、お互いが納得できるよう協議を進める。



【コミュニティ自動車】



江口 祥子 議員

フレイル予防の取組 長寿健診の勧奨に努める

「フレイル」とは、加齢に伴い心身の活力が低下し、要介護状態に近づくことをいいます。

問 令和2年度から、フレイル虚弱予防に特化した問診票により長寿健診が実施されるが、その内容と取組状況について伺う。

答 今年度から問診内容を見直し、食生活、運動や認知機能、周囲の関わり状況など、フレイル等の

高齢者の特性を把握するものとなる。6月から新たな問診票を活用して健診の案内を実施している。

問 長寿健診の実績や市民への周知方法はどのようか。

答 令和元年度は41.1%の受診率だった。広報紙のほか、防災無線や出前講座等で市民への周知を行う。

問 今後の健診のあり方について、見解を伺う。

答 1年間医療機関にかからず、健診も未受診である方には、これまで訪問による保健指導を行っている。今後は高齢者の医療や健診、介護情報等を一括で把握し、疾病・重症化を予防し、健康寿命の延伸を図る。



放置自動車の対応策は

県や関係機関と連携し対応

問 串木野フィッシャリーナ及び串木野新港内の駐車場に放置自動車が目立つが、どのように対応しているか。

答 放置場所が県用地であるため、県や関係機関と連携する必要がある。今後も所有者の把握や撤去手続きが進むよう、強く要望を続ける。



【放置自動車の状況】



中里 純人 議員

市政運営

持続可能な運営を継続

問 現在の財政状況はどうか。

答 経常収支比率（一般家庭で言えば、毎月の給料に占める食費や光熱費などの生活費やローン返済額の割合）が県内で2年連続ワーストとなり、財政の硬直化が進んでいる。

今後、市税の減少や合併算定替の終了、さらには大型事業を活用し

た合併特例債の元金償還開始に伴う公債費の増加などにより、さらに厳しい状況が見込まれる。

問 今後の財政運営並びに行政改革をどう考えるか。

答 現在、令和3年度からの次期行政改革大綱の策定に取り組んでいる。

多くの事業を広く浅く実施する「管理型行政運営」から、市民にとって真に必要な事業を実施する「経営型行政運営」への転換を目指す。

全国市長会にて、地方税財源総額の確保や新型コロナウイルス感染症対策、地方創生臨時交付金の拡充、地方交付税の算定の充実など、地方税財源の充実・強化を図るよう、国に対して強く要望した。

終活支援

先進地事例を参考にする

問 独り暮らし世帯が増加しているなか、緊急連絡先や延命治

療、かかりつけ医、葬儀方法、遺言書の場所などを市に登録しておき、亡くなってから指定していた親戚や知人に開示する「終活情報登録伝達事業」の導入は検討できないか。

答 現在、救護者台帳の登録のほか、民生委員児童委員協議会の緊急連絡カードにて緊急連絡先やかかりつけ医の登録を行っている。また、医師会と連携してマイライフノートを用いた終活について啓発を行っている。

「終活情報登録伝達事業」については、先進地の事例を参考に関係機関と研究したい。



その他の質問項目

- 市民サービス日本一の市役所について
- おくやみ窓口について



大六野 一美 議員

公共施設の統廃合

財政や地域の実情を踏まえ進める

問 現在、策定を進めている『第1期建物系個別施設計画』の案が示され、27施設が譲渡・廃止の方向であるが、市民の理解が得られるのか。

答 保有する全ての施設の建て替えや大規模な改修は、財源確保的に困難である。類似施設がある場合は廃止となるが、利用者にはその類似施設を利用してもらおう。老朽化して

いる施設はやむなく廃止する。

問 この27施設、市民の理解が得られなければ、前回同様の対応を取るのか。

答 今後の財政運営を考えると、計画に基づき進めていく方針である。利用団体等への丁寧な説明を行い、ご理解いただけるよう努力する。

問 今後の消防施設の整備について、どのように考えるか。

答 最も有効な消防力の強化は消防機能の一元化であり、今後は統合を進めていかなければならない。女性消防職員の大切さ、大事さは言われている。市民の安心・安全を確保するため、本署と分遣所の両庁舎を合わせて精査し、財政状況を勘案しながら取り組んでいきたい。

問 冠岳小学校が来年の3月で廃校となるが、跡地利活用についてどのように考えるか。

答 冠嶽芸術文化村構想推進事業費の中で、地域の皆様と芸術

文化活動の拠点として活用できないか検討している。

問 冠岳小学校は、耐震補強した体育館もあり、冠岳地区民の一同に会する場所に最適であるが。

答 歴史的にとっても重厚で誇れるものがある。地域の方々の優しさ、協力の度合い、将来を憂える熱い思い、人情は冠岳にすばらしいものがある。大きな財産である大自然を生かし歴史を生かした活用について協議していく。

問 冠岳地区民の意向を十分反映させ、生かせることが一番だと思うが。

答 補正予算に冠嶽芸術文化村構想推進事業費も国が認めたことから、価値があると思う。

冠岳の皆さんが元気が出るよう、地域の皆さんと十分協議していく。



【冠岳小学校】



吉留 良三 議員

市立ハローワークで地域活性化を 農業分野の活用も工夫する

問 コロナ禍で地方が安全・安心テレワークで仕事も地方で出来る事が立証され、真に地方の時代が到来したのではないか。

答 市長会で、東京一極集中是正に向け、新型コロナウイルスの感染拡大状況も踏まえ、テレワークなどリモート化の拡大等の施策や地方創生の推進と分権型社会の実現を国に強く要望した。

問 4月スタートの市立ハローワークはタイムリーな事業。評価と展望は。

答 5月末で求人申込217人、求職者登録61人、うち就職者17人で、各々少しずつ増えている。伊集院まで行かなくても身近で便利と好評。今後も充実を図っていく。

問 市立ハローワークに農業人材バンク機能を付加できないか。

答 市立ハローワークの農業分野の求人登録は現在2件ある。

併設する市生涯現役推進協議会で農業については、職場体験などの事業を実施し、農業人材不足の解消、就労に伴う高齢者の活躍や健康的な暮らし、生きがいへつなげたいと考えている。農業分野での活用も工夫したい。



【市立ハローワーク】

道路補修に補助金等の活用を 地方財政は限界、国に求める

問 年間800件余りの市民の要望で、特に多い道路補修などの生活環境改善と合わせた雇用対策を。

答 年間要望の7割が道路に関するもので、市道は国や県の補助金等を活用している。生活道路は補助金等がないため材料支給等に対応している。今後も国や県の補助金制度を注視していく。

問 各自治体が切磋琢磨して、個性ある、魅力あるまちづくりを競っていく基盤の1つが生活環境整備だ。中止になった事業等の財源を洗い出し対応出来ないか。

答 3割自治が現実で限界だ。地方自治体が果たしている役割その現場と実務を十分踏まえ、地方税財源の強化を強く訴えている。



田中 和矢 議員

避難所の管理運用 必要な資機材を順次整備する

問 避難所の管理運用にあたり、体制や準備を十分に検討されているか伺う。

答 国や県のマニュアル等を踏まえた避難所運用をすべく、状況に応じた避難所の開設や配備要員の確保に努めている。

また受付時の健康チェック機器など、資機材の整備を順次進めている。

五反田川の土砂・草木の対応 管轄する県に要望を続ける

問 五反田川の堆積土砂除去及び寄り洲の草木伐採について、昨年9月に一般質問し、その際「市から県に依頼・要望する」との回答であったが、未だ十分な対処がされていない。その後の経緯について伺う。

答 管轄する県に要望し、今年3月に五反田橋下流側の草木を伐採した。また、麓大橋付近の工事を予定している。

河川の状態を注視しながら、引き続き、川の流れを阻害している土砂や草木についての対応を県に要望する。



【五反田川：山之神浄水場前】

市防災センターの電源確保 国の基準により設置

問 市防災センターに設置した非常用電源機は、3日間連続で自家発電できる機能を備えているが、昨今は長期・大規模な災害が目立つ。危機管理は何もなければ「無駄・空振り」になるが、最悪の事態に備え、この3日間の期間を1週間程度に延長する考えはないか伺う。

答 自家発電機の設置にあたり、国から「防災拠点施設の非常用発電機は72時間供給なしで稼働する措置が望ましい」との示しがある。

今後、大規模災害時に優先的に燃料を補充できるよう、関係先との協定締結に向けて進める。



福田 清宏 議員

ストリートバスケット
様々な角度から研究

問 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」のバスケットボール競技が総合体育館において開催されることを記念して、公園でストリートバスケットができるようにボード等を設置できないか伺う。

答 公園使用時の安心安全対策等の検討が必要であり、今後、様々な角度から研究する。

機能別消防団員制度の導入
基本団員の確保が重要

問 現状の消防団員の活動を補完し、市民の生命財産を災害から守るために、火災や大規模災害等の発生時に出動する経験豊富な元消防職員や元消防団員等で構成する機能別消防団員制度の導入について伺う。

答 大規模災害時に一定の効果が得られると思われるが、本市では昼間の団員不足を補う対策が必要と考える。

消防団活動の中核となり、あらゆる災害に対応する基本団員を確保することが何より重要である。

さらに、消防団員が勤務する事業所に対し消防団の役割や勤務中の災害出動などに、ご理解をいただけるように協力を要請し、今後昼間の消防団員の不足を解消するよう努める。

地区担当職員制度
連携強化を図る

問 まちづくり協議会の地区担当職員の職務について伺う。

答 共生協働のまちづくりを進めるため、まちづくり協議会が行うまちづくり活動を支援することを目的に、4月1日現在、市内16地区に各地区4名の合計64名を配置している。

地区まちづくり計画の策定及び円滑な事業実施への支援等をおこなっている。

本年4月から、新たに災害時の被害状況の情報収集など、災害時の連携強化にも取り組む。

問 地区担当職員は会議や行事等に出席し参加して、その職務を十分に果たしているか伺う。

答 今後も、地区担当職員と地区との情報共有の場を積極的に増やすなど、連携強化を図る。

市議会
豆知識

市議会って、何をするとところ？

私たちのまちを住みよいまちにしていくためには、市民の意見が市政に反映され、実行していくことが理想的ですが、実際に市民の方全員が集まって話し合うことは困難です。

そこで、市民の声が十分に市政に反映されるように、代表者（市議会議員・市長）を選挙によって選び、市民の代表者として市政について話し合ってもらっています。

市議会は予算や条例などについて審議し、市としての意思を決定・チェックしていくことから『議決機関』といい、市長は市議会で決まったことを実際に推進することから『執行機関』といいます。

市議会と市長は、独立・対等な立場で、お互いに市政を考え協力しあいながら、市民生活の向上に努めています。



政務活動費報告 (平成31年4月~令和2年3月分)

政務活動費は、議員の調査研究活動などに要する経費の一部として、本市では議員個人に交付されています。

政務活動費は、**議員 1 人につき年間12万円**（1月あたり1万円）を交付しています。執行額が交付額に達しない場合、残額は返納しています。

（交付額を超えた場合は自費負担）

（単位：円）

議員名	執行額 (支出額)	主な支出内容		
		項目	金額	具体的支出事項
吉留 良三	74,017	広 報 費	55,656	議会報告印刷代（3回）
		資料購入費	18,361	農業新聞購読料
江口 祥子	48,760	調査研究費	48,760	行政視察（東京都千代田区ほか）
松崎 幹夫	0	-	-	-
田中 和矢	0	-	-	-
平石 耕二	0	-	-	-
中村 敏彦	90,849	広 報 費	60,120	議会報告印刷代（4回）
		資料作成費	15,341	インク代、インデックス代
		資料購入費	9,258	農業新聞購読料、書籍代
		事 務 所 費	6,130	FAX ロール紙代、セキュリティソフト代
大六野 一美	0	-	-	-
濱田 尚	0	-	-	-
中里 純人	86,021	資料作成費	81,141	パソコン・インク代等
		資料購入費	4,880	書籍代
東 育代	13,837	広 報 費	13,837	議会報告印刷代（1回）、インク代、用紙代
西別府 治	49,834	資料作成費	49,834	パソコン・インク代等
竹之内 勉	12,019	資料作成費	2,227	インク代
		資料購入費	9,792	書籍代（地方議会人）
原口 政敏	0	-	-	-
宇都 耕平	20,500	資料作成費	20,500	プリンター代等
福田 清宏	30,140	資料作成費	30,140	レーザープリンター・インク代
下迫田 良信	0	-	-	-
合 計	425,977	-	-	-

6月定例会補正予算 新型コロナウイルス感染症関連事業など 32億8,036万1,000円の追加計上 《一般会計予算総額192億9,036万1,000円に》

【事業の主なもの】

・学校へパソコン端末配備 1億1,368万円

ICTの活用により、学校の臨時休業等の緊急時においても、学びを保障できる環境を整備するため、児童生徒に1人1台のパソコン端末を整備する。

・今回整備予定台数：1,832台

・冠嶽芸術文化村構想の推進 1,135万円

創発コミュニティ「えんたく」が自走できる環境を整備し、地域における芸術振興と地域経済活動の継続を図る。

【事業内容】

- ・冠岳小学校跡地の利活用検討
- ・8ミリフィルムによる地域記録映画事業
- ・地域「食」資源活用事業 など

意見

地方創生の目的を達成するためにも、「えんたく」と地域が連携しながら、取組を進めていく必要がある。

・福祉バスの更新 1,922万円

平成15年度に購入し、走行距離が23万キロを超えている福祉バスを更新する。



(福祉バス)

・コミュニティ事業への助成 250万円

地域活性化や住民福祉の向上を図るため、中央地区まちづくり協議会が行う「なつかシネマ」などのイベントや、地域活動で利用するプロジェクタ・スクリーン等の備品を購入する。

・留学生記念館の整備 200万円

薩摩藩英国留学生記念館の2階展望デッキ部分の修繕と、留学生の村橋久成を題材にした新たな紙芝居の作成を行う。

・甌大橋の開通を記念した誘客 530万円

8月29日の甌大橋開通に合わせ、本市への誘客を図るため、市内の飲食店・観光施設等で使用できるクーポン券を配布する。

【対象者】

・「フェリーニューこしき」の利用者

【配布物】

・薩摩藩英国留学生記念館優待券及びクーポン券 (500円分)

問 甌大橋の開通によって、どのような影響があるか。

答 甌島が橋で一つに繋がることで、島内の移動がスムーズになり、今後観光客が増えていくと考える。本市にとっても大きなチャンスと捉え、情報収集に努めたい。



(串木野新港フェリーターミナル)

【新型コロナウイルス関連予算】

・特別定額給付金 27億 7,397万円
緊急経済対策の一環として1人あたり10万円の支援を行う。

問 特別定額給付金について、未申請者への対応をどのように行っているか。

答 申請書等の郵送が返却された75件については、家族からの送付先変更依頼によるもののほか、民生委員等と協力して対応している。それ以外の方については、案内の文書を再送している。

意見

特別定額給付金については、スピード感を持って取り組み、問い合わせ時の窓口対応も良かったと市民から好評の声があった。

・食のまち応援商品券の発行 1億 300万円
特に経営に苦慮している飲食サービス事業者の事業継続・経営安定に向け、市民の消費を喚起するため、食のまち応援商品券を発行する。(プレミアム率100%)



(食のまち応援商品券)

問 食のまち応援商品券について、使える店舗が分からなかったため、購入者があまり伸びなかった。おしらせ版等で店舗を広報したうえでの販売を行うなど、工夫が必要だったのではないか。

答 商品券の申し込みと利用店舗の登録を同時並行で行った。6月8日からの二次販売では工夫を行う。

問 商品券の利用期限が8月末までと短い。見直しができないか。

答 飲食店舗になるべく早く効果が出るよう、短めに期間を設定した。

・中小企業等への緊急支援 8,000万円
2月～5月の売上が前年同月比で5%以上減少した市内の対象事業者に、事業継続・経営安定を応援するため支援金を給付する。

売上減少率	給付金額
5%～20%未滿	5万円
20%以上	10万円

問 中小企業等への緊急支援について、もう少しハードルを下げられなかったのか。

答 国や他の自治体と比べてもハードルが低くなっており、利用しやすい制度となっている。

・子育て世帯への臨時給付金 3,737万円
緊急経済対策の一環として子育て世帯へ一時金を支給する。(対象児童1人あたり1万円:6月10日に支給済み。)

・緊急雇用対策の取組 1,026万円
業績悪化に伴う離職者や収入減少者を対象に、緊急雇用対策として、市臨時職員を雇用する。(10名程度)

問 緊急雇用対策における市臨時職員の募集はどのように行ったのか。

答 上半期分については緊急であったため、市のホームページのほか、市立ハローワーク、ハローワーク伊集院のほか、防災無線で案内をした。下半期分については、おしらせ版等でも案内をしたい。

・防護服・マスク等の購入 759万円
発症者発生時の迅速な対応や拡大防止に備え、必要な備品等を購入する。

問 発生時の拡大防止と合わせて、感染拡大を予防する取組が重要。アルコール消毒液等の一部を店舗等への斡旋・配布などはできないか。

答 予防に勝る治療はないと考える。現在は公共施設への配備を行っているが、今後、実態の把握に努める。

条例の制定・改正、その他

令和2年度の介護保険料を改正

非課税世帯の方を対象に、介護保険料を見直します。

所得段階	保険料(年額)	
	変更前	変更後
第1段階	26,900円	21,500円
第2段階	44,900円	35,900円
第3段階	52,100円	50,300円

※課税世帯(第4段階以降)の方は従来どおりです。

令和2年度の国民健康保険税を改正

①国保税の課税限度額を見直します。

内容	これまで	令和2年度より	備考
基礎課税額	61万円	63万円	(+2万)
後期高齢者支援金分	19万円	(変更なし)	-
介護納付金	16万円	17万円	(+1万)
合計	96万円	99万円	(+3万)

②世帯所得が基準以下の場合、保険税を軽減します。

軽減の種類	軽減対象となる世帯の合計総所得金額
7割軽減	33万円 【変更なし】
5割軽減	33万円 + 28万円 × (軽減対象者数) → 28万5,000円に
2割軽減	33万円 + 51万円 × (軽減対象者数) → 52万円に

問 一人あたりの医療費が県内ワーストの状況が続いている。このことが国保税の負担へと繋がるが、どう考えるか。

答 市民一人ひとりが自分ごととして捕らえ、健康に気をつけて健康寿命を伸ばせるよう、周知広報に努める。

コロナウイルス感染者への傷病手当

国民健康保険または後期高齢者保険の加入者に対し、コロナウイルス感染時に傷病手当金を支給します。

【支給額】

(直近3ヶ月間の給与収入の合計額 ÷ 勤務日数) × 2/3

【上限額】 1日あたり 30,887円

コロナウイルス対策による市税の減免

①厳しい経営状況にある中小事業者等に対し、令和3年度分の課税に限り、償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税を減免します。

【令和2年2月～10月の任意の3ヶ月間において】

減少率	固定資産税額
・30~50%の減少	2分の1に減額
・50%以上減少	ゼロ

②中小事業者等が新たに先端設備等を導入する際、その課税標準をゼロとします。

③軽自動車取得時の環境性能割について、税率を1%軽減する特例措置の適用期限を、令和3年3月31日まで延長します。

④令和2年2月以降に相当の減収があり、納税困難な事業者等に対し、無担保かつ延滞金なしで1年間徴収を猶予します。

マイナンバー通知カードの廃止

マイナンバー通知カードは5月25日以降廃止となります。(今後は通知カードの再発行手続き及びその手数料が廃止となります。)

意見

今後、デジタル化が進むなかで、マイナンバーを活用した多くの取組がある。庁内で連携し、普及に取り組んでもらいたい。

非常勤消防団員の補償基礎額を改正

公務上の災害等に対する補償基礎額を改正します。(最大で100円の増額となります。)

階級	勤務年数		
	10年未満	10年以上20年未満	20年以上
団長及び副団長	12,440 (12,400)	13,320 (13,300)	14,200 (14,200)
分団長及び副分団長	10,670 (10,600)	11,550 (11,500)	12,440 (12,400)
部長、班長及び団員	8,900 (8,800)	9,790 (9,700)	10,670 (10,600)

※()内は改正前の基礎補償額です。

第2回定例会（6月）の表決結果

提案された議案について、6月25日の本会議において、議長を除く15人の議員による採決を行いました。

1. 全会一致で可決された議案等

(1) 条例

- ・税条例等の一部改正
- ・税条例の一部改正
- ・固定資産評価審査委員会条例の一部改正
- ・手数料条例の一部改正
- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(2) 補正予算

- ・一般会計（第2号）
- ・一般会計（第3号）

(3) その他

- ・専決処分の承認（6件）

令和2年第4回いちき串木野市議会定例会日程（案）

第4回（9月）の市議会定例会については、下記の日程を予定しております。
（ただし、今後の状況により、変更になることもあります。）

月 日（曜日）	内 容
・ 8月 28日（金）	本会議（開会日）
・ 9月 4日（金） 7日（月） 8日（火）	一般質問 ※件数によっては日程が変更となります。
・ 9月 9日（水）	常任委員会（総務厚生委員会）
・ 9月 10日（木）	常任委員会（産業教育委員会）
・ 9月 23日（水）	本会議（最終日）

（注）時間はいずれも午前10時からの予定です。

議会傍聴にどうぞ 車椅子のまま傍聴できます

- ・ 次回の定例会は、**8月28日（金）**からの予定です。
- ・ 本会議・常任委員会のほか、議員全員協議会についても傍聴できます。
- ・ 市のホームページのほか、スマートフォンやタブレットでも本会議の様子が生中継でご覧できます。
（右のQRコードから確認できます。）



[議会中継] 映像配信

全国市議会議長会の表彰を受けました

全国市議会議長会から、地方自治の発展に寄与した功績により5名の方が受賞され、表彰状の伝達式が6月16日に議場で行われました。



東議員 竹之内議員 下迫田議員 濱田議員 平石議員

議員名	内容
下迫田 良 信	議員 30年以上勤続
竹之内 勉	議員 25年以上勤続
濱 田 尚	議員 15年以上勤続
平 石 耕 二	議員 10年以上勤続
東 育 代	正副議長4年以上勤続

議会の動き (令和2年5月～7月)

【5月】

- 15日 第4回議会改革推進特別委員会
- 21日 議員研修会
議会運営委員会
- 26日 鹿児島県市議会議長会臨時総会(書面開催)
- 29日 第5回議会改革推進特別委員会

【6月】

- 3日 議会運営委員会
- 5日 本会議(開会日)・議案質疑
- 15日～16日 一般質問 (7人)
- 16日 全国市議会議長会永年勤続表彰状伝達式(5人)
- 17日 常任委員会(総務厚生委員会)
- 18日 常任委員会(産業教育委員会)
- 23日 議会運営委員会
- 25日 本会議(最終日)

【7月】

- 8日 第6回議会改革推進特別委員会
- 22日 議会運営委員会
- 27日 臨時会(開会日)・議案質疑
- 28日 常任委員会(総務厚生委員会)
- 29日 常任委員会(産業教育委員会)
- 30日 鹿児島県市議会議長会定期総会(書面開催)
- 31日 臨時会(最終日)

新型コロナウイルス感染症 拡大防止に関する議会の取組

新型コロナウイルス感染症拡大による本市経済への影響が深刻ななか、市民生活・市内経済の浮揚の一助になればとの思いから、市議会として下記の取組について決定し、6月25日付けで市当局に対して通知しました。

・議会費予算(先進地行政視察旅費)の執行停止

【金額】 382 万円

なお今回の削減額については、その用途について、できるだけ新型コロナウイルス感染症対策予算に充当されるよう、併せて依頼しました。

第3回市議会臨時会の開催(7月)

新型コロナウイルス感染症による影響や、7月上旬の梅雨前線豪雨の被害を受け、その対応として7月27日(月)～31日(金)に臨時会を行いました。

(詳細は次号でお知らせします。)

編集後記

猛暑が続いておりますが、新型コロナウイルス感染症との闘いのなかで、まだしばらくはマスクが手放せません。くれぐれも熱中症などに注意してお過ごしいただきたいと思えます。

さて、6月定例会ではコロナ対策補正予算についても協議し可決いたしました。一日でも早い収束と平穏な市民生活が戻ってくることを願いながら、市議会としましても一致してコロナ対策に今後も取り組んでまいります。(江口 祥子)

議会広報特別委員会

委員長	松 崎 幹 夫
副委員長	吉 留 良 三
委員	江 口 祥 子
〃	田 中 和 矢
〃	中 村 敏 彦
〃	宇 都 耕 平